
岐阜県立岐阜北高等学校

校長 鈴木 健
学校住所 岐阜市則武清水 1841-11 電話 058-231-6628

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月30日(月) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜北高等学校会議室
- 4 参加者

会長	小林 月子	岐阜大学名誉教授 (欠席)
副会長	小森 崇稔	PTA会長
委員	小野 慶太	岐阜青年会議所副理事長
	澤井 隆彰	人材育成コンサルタント
	高橋 進	則武自治会連合会顧問
	西川 光美	令和3年度PTA会長
	古田菜穂子	同窓会代表 (北斗会顧問)
学校側	鈴木 健	校長
	土田 修三	教頭
	山田 哲志	教頭
	新沢 幸美	事務部長
	西野 公司	教務主任
	若狭 幹大	生徒指導部長
	山田 雄太	特別活動部長
	山田 知史	図書部長
	河合 恵哉	総務渉外部長
	高木 一輝	カリキュラムデザイン部長

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 授業見学について

意見1: ほぼすべての生徒が前向きに授業に参加している姿が印象に残った。

意見2: 対話型の授業で生徒同士が教え合うなど活発な様子が伝わってきた。こうした授業も続けて欲しい。

意見3：ALT(外国人指導助手)とのやりとりにおいて、「OK?」などの問いかけに即座に反応することに慣れていない様子も見受けられた。

(2) 令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1：今後も、知・徳・体のバランスのとれた教育を続けて欲しい。

意見2：子どもが本校に入学し、その成長過程で多様性への理解が一層深まるなど、本校の教育に非常に感謝している。

意見3：学校だけでなく地域・自治会・保護者等と共に協力して展開できるような教育活動を考えて欲しい。

意見4：1年次より探究活動に取り組めるというカリキュラムとしたことは素晴らしい。

意見5：全国高等学校総合文化祭岐阜大会が開催される令和6年に、国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭も岐阜で開催されるので、ぜひ高校生にも参加して欲しい。

意見6：特別活動部の取組に関して、コロナ禍において行事を諦めるのではなく、「どのようにすれば実施ができるのか」という姿勢がよい。

意見7：コロナ禍であっても生徒にとっての3年間はかけがえのないものなので、可能な限り充実した教育活動を推進して欲しい。

意見8：教科教育、進路指導、生徒指導の重点の随所に、「個に応じた指導」という言葉がある。ぜひ実現をして欲しい。不登校の生徒に対しても、担任だけで抱え込むことなく、チーム(組織)として対応をして欲しい。

⇒担任だけに任せるのではなく、所属する学年団や教育相談係、管理職も含めたチームでの支援体制としている。スクール相談員や特別支援教育支援員、スクールカウンセラーなどの専門職員も配置し、必要に応じて個別の支援計画を立てるなど、職員の共通理解を図るための研修も実施している。

意見9：生徒の自主性を重んじながら学校内で生徒に指導すべき共有事項については、誰に相談して、誰が決定しているのか。

⇒内容にもよるが、最終的には学校長が判断している。例えば制服について言えば、生徒を含む制服検討委員会が検討した結果を学校長に答申し、それを受けて学校長が示す方針に沿って生徒指導部が生徒心得を改正している。細かい運用のルールは生徒指導部と生活委員会で検討をしているところ。

意見10：スクール・ポリシーは、昨年度の協議会で検討し合意が得られたもので大変重要なものと認識している。今年度は、ぜひそれに沿った運営を行い、本校が目指す教育が実を結ぶことを期待している。今後はその過程で明らかになる成果と課題についての検討が必要になる。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の教育指導の重点及び学校経営計画について理解と承認が得られた。
- ・本校に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。今後の学校経営に生かしていく予定である。
- ・第2回では、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果を基にして、本校教育活動に対する指導・助言を集約する予定である。